

科目責任者 土屋 睦廣

■教育目的

過去を知ることは現在を理解すること、未来を考えることに通じる。今日、人類の運命を左右するほど強大な力を持つに至った科学も、当然のことながら、人類の歴史のなかで社会的、思想的な制約を受けながら成立したものである。本授業では、ヨーロッパの科学と医学の歴史を、古代ギリシアにおけるその始まりから、17世紀における近代科学の成立まで、いくつかのテーマに沿って解説する。科学の歴史的経緯を理解することは、今日の科学技術がかかえる様々な問題を考察する上でも、不可欠なことである。

■学習到達目標

1. 古代ギリシア科学の特質と科学史上の意義を理解する。
2. 近代科学が成立するに至る歴史的経緯を、社会的・思想的背景とともにを理解する。
3. 近代科学の特質と歴史的・社会的意義を理解する。
4. 今日の科学と医学のあり方を、相対的・批判的な視点から考察することができるようになる。

■準備学習（予習・復習）

予習：授業で取り上げるテーマについて、本やインターネットで予備知識を得る。

復習：授業で紹介した参考書等で、さらに知識と理解を深める。

■授業内容

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	序論	・歴史学とは何か。 ・歴史のなかの科学。	
2～3	古代ギリシアにおける科学の始まり	・科学の始まり。ミレトス派とアナクシマンドロスの宇宙論。 ・ピュタゴラス派の数学的神秘主義。	
4～5	古代科学の発展	・天文学の発展。数学的精密化と哲学的基礎付け。 ・応用技術の発展。アレクサンドリアの機械学。	
6～8	古代ギリシアにおける医学の始まりと展開	・ヒッポクラテスと医学の始まり。 ・医神アスクレピオスの信仰治療。 ・ガレノスによる古代医学の集大成。四体液説の発展。	
9～11	疫病の歴史	・古代ギリシアの疫病。 ・ローマ帝国と疫病。 ・中世の黒死病。 ・新型インフルエンザのパンデミック。	
12	古代科学の衰退と継承	・古代科学の衰退とシリア・アラビアにおける継承。 ・西欧への還流。 ・科学史におけるルネサンス時代の意義。	
13～14	近代科学の成立	・科学革命の時代。近代天文学と近代力学の成立。 ・科学革命の思想的背景。ルネサンスのオカルティズム。	
15	現代と科学	・科学革命とパラダイム論。 ・現代社会の課題。 ・科学至上主義の克服とこれからの科学。	

■授業分担者

No.1～15 土屋 睦廣

■成績評価方法

期末試験の点数（80％）に平常点（20％）を加味する。

■教科書

なし

■参考書

授業中に適宜紹介する。